会員各位

2012年9月
日本化粧品技術者会 東京支部

第 261 回「学術講演会」のご案内

日中の暑さもようやく和らぎ秋の気配が漂う季節になってまいりました。会員の皆様におかれましては益々ご健勝のことと存じます。さて今回は2題のテーマで「学術講演会」を開催致します。
1 題目は、微粒子・ナノ粒子界面特性などのコロイド科学・工学領域の研究で著名な武田先生を迎え、化粧品に配合される各種粉体の分散・凝集について、基礎から評価・応用にわたり解説して頂きます。
また第 2 題目は、宇宙開発と同様にまだまだ未知の世界が広がる深海領域での探索技術、そして深海における生態系など、海洋研究開発機構の三輪先生にその技術とロマンをお話頂きます。
皆さまお誘い合わせの上、多数ご来聴いただきますようご案内申し上げます。 （学術部会A）

記

1. 日 時 ： 2012年10月29日（月） 13:30～16:30 （13:00～ 受付開始）

2. 場 所 ： 学士会館（神田） 2F－202号室（地下鉄神保町下車;参加申込書略図参照）
東京都千代田区神田錦町3-28 TEL;03－3292－5936

3. 講演

【講演-1】 13:30～14:45

『化粧美を演出するナノ粒子の分散とその最新評価法』

武田コロイドテクノ・コンサルティング㈱ 代表取締役社長 武田 真一 氏

［要旨］

化粧品に配合される粉体には，無機顔料、有機顔料、有機粉末などがあるが、 色調を重んじる化粧品では、粉体の分散の良否が商品の良否を左右すると言われている。本講では、分散性の定義など基礎的事項の説明を行ってから、粉体の水や油剤などに対する濡れやすさ、分散・凝集の程度の評価など実用的事項を化粧品に良く使われる粒子を対象に解説する予定である。

［講師略歴］

昭和61年3月 京都大学大学院工学研究科博士課程 工業化学専攻 単位認定退学
昭和61年4月 岡山大学工学部合成化学科 助手
昭和63年4月 岡山大学工学部精密応用化学科 助手 （学科名変更）
平成7年11月 米国コロンビア大学ラングミュアセンター 客員教授
平成11年8月 米国エール大学科学工学科 客員教授
平成17年4月 大阪大学大学院工学研究科環境・エネルギー工学専攻 学内講師
平成19年1月 大阪大学大学院工学研究科環境・エネルギー工学専攻 退職
平成19年5月 武田コロイドテクノ・コンサルティング株式会社 設立 現在に至る

（研究テーマ）

コロイド工学・コロイド科学 ： とくに、微粒子・ナノ粒子濃厚分散系の分散・凝集特性、微粒子・ナノ粒子界面特製の研究と評価方法の開発

【講演-2】 15:00～16:30

『深海底探査の新展開　－深海底環境の謎とそこに眠る可能性－』

独立行政法人 海洋研究開発機構　海洋工学センター
先進計測技術グループ　グループ長　　三輪　哲也　氏

［要旨］

日本の周辺は広大な海に囲まれている。これまで海の利用は水産・運輸・レジャーなど、海の表層いわゆる気水界面の利用に過ぎなかった。水圧・高温などの耐久性能を改善することにより、海底、いわゆる固液界面の探査技術は、このところ新展開を見せている、これまでは、「行くこと」に意義があったが、これからは「観測すること」が重要になってきている。詳しい観測が 実施されることにより、海底の環境も明らかになり、そこには多様な生命が活動していることがわかってきた。そして資源の濃縮も行われていた。 深海底は、どんな場所で、どのような環境で、どうやって維持されているのか、謎はたくさんある。深海底の探査技術は近年目覚ましく発展し、低 コストでの探査方法の展開が始まろう としている。そこには測定器の小型化が重要な課題となっている。深海底探査の現状と課題を探る。

［講師略歴］

平成 3 年 9 月	東京工業大学大学院理工学研究科化学工学専攻博士課程卒業
平成 3 年～7 年	新技術事業団 創造科学技術推進事業 永山たん白集積プロジェクト 研究員
平成 7 年～10 年	東京大学大学院工学系研究科応用化学専攻助手 藤嶋研究室
平成 10 年～	海洋科学技術センター 深海環境フロンティア 研究員
平成 15 年	同グループリーダー
平成 20 年	海洋研究開発機構 海洋工学センター基盤技術研究G グループリーダー
平成 22 年	海洋研究開発機構 事業推進部広報課 サイエンススーパーバイザー兼任
平成 24 年	海洋研究開発機構 海底資源研究プロジェクト 環境影響評価研究グループ兼任

（最近の主な研究テーマ）

- 深海光計測技術開発、現場計測システム開発
- 深海生物の生存捕獲、長期飼育
- 深海生物の組織培養、環境応答解析
- 熱水鉱床環境計測と環境影響評価

（コメント）

深海生物を使った研究を考えていたら、そこには生きている個体がいなかった。ならば、自分で用意するしかない環境に追い込まれていた。極限環境と呼ばれる変わった環境に多くの生物が生育し、生態系を構築しているのは、もはや深海の常識である。ステップアップのために、これらの飼育困難生物の探索と捕獲から飼育に向けての糸口を見出したい。そして深海環境の本当の姿をあぶりだしたい。

以上

日本化粧品技術者会東京支部　事務局　行
（FAX:03－6431－9126）

第 261 回　学術講演会（開催日：10月29日）参加申込書

参加者 氏名	該当に○　：　正会員、準会員、シニア会員、相談役・顧問、代理参加
	代理参加の方は、正会員のお名前もお書きください
	正会員名
会社名	
連絡先	TEL：
	FAX：

◇　申込方法

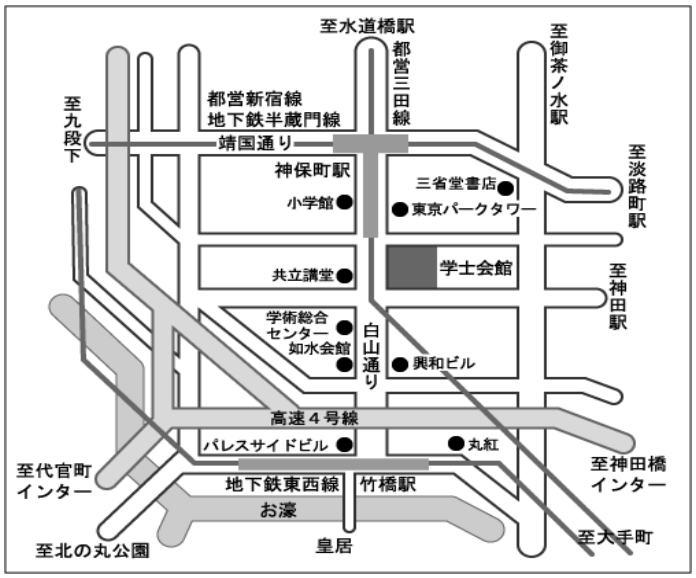
- 本申込書を事務局（03－6431－9126）にFAXして下さい。
- 参加費は無料です。
- 参加証は発行しませんので、特に事務局からご連絡（定員でお断りする場合）がない限り、参加可能です。
- なお、正会員の代理者（1名）の参加は可能ですが、準会員、シニア会員の方はご本人のみ参加可能です。

申込締切日：10月22日（月）（厳守）

会場定員になり次第、締切らせていただきますので、お早めにお申込下さい。

◇　お問合わせ先　日本化粧品技術者会事務局（東京支部）（TEL：03－6431－9196）

◇　会場（学士会館）略図



◇地下鉄　都営三田線/都営新宿線/東京メトロ半蔵門線　神保町駅下車（A9出口）徒歩 30 秒
◇地下鉄　東京メトロ東西線竹橋駅下車徒歩5分